

第 31 期 J E T プログラム 歓送レセプションの実施

2017 年 7 月 7 日、大使公邸にて、7 月渡日予定の JET プログラム新規参加者 18 名(4 月に出発した者を含めると今年は計 28 名)を迎えて、歓送レセプションを開催しました。参加者は渡日後、英語の補助教員 (ALT: Assistant Language Teacher) として全国各地の小・中・高校にて勤務します。

この日は、バーナード教育・青年・情報省事務次官 (リード同省大臣代理)、ブラックウッド文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省スポーツ開発・モニタリング上席局長 (グランジ同省大臣代理)、リチャーズ外務・貿易省二国間関係局長代行、ジャレット・ジャマイカ JET 同窓会 (JJETAA) 会長が出席し、新規参加者に対して激励の言葉をかけました。中野大使は、日本での生活を通して文化を学ぶと共に、ジャマイカの歴史や文化を日本人と共有することへの期待を述べ、それに応えるように新規 JET 代表者は日本への出発に向けての抱負を述べました。

ジャマイカでは 2000 年に JET プログラムを開始、これまで二国間関係の発展に貢献してきています。現在 115 名のジャマイカ人 JET 参加者が日本で ALT として働いています。また、7 月に出発の JET 参加者 18 名を合わせると、2000 年以降合計 343 名のジャマイカ人が JET プログラムに参加することになります。



(左) 集合写真 (左より) バーナード教育・青年・情報省事務次官、リチャーズ外務・貿易省二国間関係局長代行、大使夫人、中野大使、新規 JET 参加者と共に

(右) 中野大使と大使夫人に日本語で挨拶をする新規 JET 参加者たち



（左）中野大使、大使夫人と言葉を交わすバーナード教育・青年・情報省事務次官（左）及び
ブラックウッド文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省スポーツ開発・モニタリング上席局長
（左から二人目）

（右）中野大使による挨拶



司会進行をするブラウン JJETAA 広報担当官



ジャレット JJETAA 会長による挨拶



(左) JET 代表者による日本語・英語でのスピーチ



(右) バーナード教育・青年・情報省事務次官による挨拶



(左) ブラックウッド文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省スポーツ開発・モニタリング上席局長による挨拶



(右) リチャーズ外務・貿易省二国間関係局長代行による乾杯の音頭



(左) (左より) ジャレット JJETAA 会長、バーナード教育・青年・情報省事務次官、ブラック
ウッド文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省スポーツ開発・モニタリング上席局長、中野大使



(右) 会場の様子